

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)

【公開番号】特開 2000-169740 (P2000-169740A)

【公開日】平成 12 年 6 月 20 日 (2000.6.20)

【出願番号】特願 平 11-348690

【国際特許分類】

**C 0 8 L 101/00 (2006.01)**

**C 0 8 K 5/01 (2006.01)**

**C 0 8 L 23/00 (2006.01)**

**C 0 8 L 25/10 (2006.01)**

**C 0 8 L 27/00 (2006.01)**

**C 0 8 L 33/00 (2006.01)**

**C 0 8 L 33/12 (2006.01)**

**C 0 8 L 55/02 (2006.01)**

**C 0 8 L 67/00 (2006.01)**

**C 0 8 L 69/00 (2006.01)**

**C 0 8 L 73/00 (2006.01)**

**C 0 8 L 91/06 (2006.01)**

【F I】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 5/01

C 0 8 L 23/00

C 0 8 L 25/10

C 0 8 L 27/00

C 0 8 L 33/00

C 0 8 L 33/12

C 0 8 L 55/02

C 0 8 L 67/00

C 0 8 L 69/00

C 0 8 L 73/00

C 0 8 L 91/06

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 11 日 (2006.10.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも 1 種の耐衝撃性改良剤および少なくとも 1 種の鉱油を含み、さらに 0 - 50 重量 % の 1 またはそれ以上のプラスチック樹脂を含む耐衝撃性改良組成物。

【請求項 2】 鉱油と耐衝撃性改良剤との比が 0 . 1 : 10 ないし 4 : 10 の範囲である請求項 1 に記載の耐衝撃性改良組成物。

【請求項 3】 少なくとも 1 種の耐衝撃性改良剤が、メタクリル酸メチル / ブタジエン / スチレンベースコポリマーおよびアクリルベース耐衝撃性改良剤から選択される請求項 1 に記載の耐衝撃性改良組成物。

【請求項 4】 少なくとも 1 種の鉱油が、重鉱油および軽鉱油のうちの少なくとも 1 つか

ら選択される請求項 1 に記載の耐衝撃性改良組成物。

【請求項 5】 a) 少なくとも 1 種の耐衝撃性改良剤；

b) 少なくとも 1 種の鉱油；および

c) 0 - 50 重量%の 1 またはそれ以上のプラスチック樹脂を混合することを含んでなり、鉱油と耐衝撃性改良剤との比が 0 . 1 : 10 ないし 4 : 10 の範囲である請求項 1 に記載の耐衝撃性改良組成物の製造法。

【請求項 6】 少なくとも 1 種の耐衝撃性改良剤を、ラテックス、エマルジョンまたは乾燥粉末形態のいずれかで用いる請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】 1 またはそれ以上のプラスチック樹脂を請求項 1 に記載の耐衝撃性改良組成物と組み合わせることを含んでなる耐衝撃性改良プラスチック樹脂の調製法。

【請求項 8】 1 またはそれ以上のプラスチック樹脂が、1 またはそれ以上の、ポリハロゲン化ビニル；ポリアルキレンテレフタレートポリマー；ポリカーボネートポリマー；ポリアルキレンテレフタレート／ポリカーボネートポリマーブレンド；アクリロニトリル／ブタジエン／スチレンポリマー；ポリオレフィンポリマー；混合ポリオレフィンポリマーブレンド；およびポリケトンポリマーから選択される請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】 少なくとも 1 種の鉱油および少なくとも 1 種の耐衝撃性改良剤をプラスチック樹脂に添加することを含んでなり、少なくとも 1 種の鉱油をプラスチック樹脂の表面滑剤として、またはその一部として添加しない耐衝撃性改良プラスチック樹脂の調製法。

【請求項 10】 低減された溶解粘度を有する耐衝撃性改良プラスチック樹脂を製造するための請求項 9 に記載の方法の使用。

【請求項 11】 請求項 7 および 9 の方法により調製された耐衝撃性改良プラスチック樹脂から製造された製品。

【請求項 12】 a) 1 またはそれ以上の第一のモノマーおよび開始剤を、任意に水性界面活性剤溶液中で混合し；b) 得られた混合物を加熱してモノマーを重合させ；任意に、c) 工程 b) から得た重合生成物を 1 またはそれ以上の第二のモノマー、さらなる開始剤および界面活性剤と一緒にし、得られた混合物を加熱してラテックスを得；d) 得られた耐衝撃性改良剤を単離する工程を用いて少なくとも 1 種の耐衝撃性改良剤を形成することを含み、少なくとも 1 種の油を、a)、b)、c) および d) の 1 またはそれ以上のいずれかの工程で形成された反応混合物に添加する、少なくとも 1 種の油を少なくとも 1 種の耐衝撃性改良剤と組み合わせる方法。

【請求項 13】 少なくとも 1 種の油が、鉱油、5000 またはそれ以下の重量平均分子量 (MW) を有するポリマー；12 個またはそれ以上の炭素原子を含有するアルキル基を有するアルキルアクリレート；12 個またはそれ以上の炭素原子を有するカルボン酸またはアルコールを含有するエステル；植物油；海産物油；工業用油；パーム油および動物性脂肪から選択される請求項 12 に記載の方法。